



第 408 号 平成 24 年 7 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

## 教育委員会と懇談会

会 長 奥 村 正 治

前月 6 月 30 日（土）に、恒例になっております教育委員会と執行部との懇談会が開かれました。本年も 5 題ほどの協議になりましたが、その内のいくつかをお知らせいたしたいと思います。

出席者は、教育委員会の方々は、教育長 生田義久氏、体育健康教育室（体健室）室長 山本雅之氏、体健室保健安全課長 上田廣久氏、体健室担当課長 補佐 有澤重誠氏の 4 名。学校医会からは、私と、副会長の林先生、専務理事の井本先生、常任理事の杉本先生、大久保先生、監事の長村先生、眼科学校医、耳鼻咽喉科学校医からはそれぞれの会長がお忙しい為、学校医担当理事の佐野先生、鈴木先生の 8 名が参加した。教育委員会の教育長と課長は本年 4 月に交代があり、この懇談会には初参加となり、例年と比較すると言葉少ない感じました。

第 1 の話題は、学校における検診後何らかの病状が認められ（疑いも含み）、事後措置として保護者に受診勧奨が学校長名で行なわれておりますが、全員が受診しているわけでもなく、最近では心臓検診においては 10% ぐらいの方が未受診である。（検診発足当初は、1～2 人の方の未受診であった）腎臓検診においては、約半数の方々の未受診との数字も出ている。この未受診者の減少に教育委員会も努力をしてほしいという話題である。

実際、養護教諭と校医の連携を密にさせていただき、どの子とどの子は二次検診、三次検診に向うのか？ 又、結果はどうなっているか？ 等々、健康管理医等のお仕事で学校へ出向かれた時にチェックを加えていただきたいと思います。4 月、5 月の検診時には、検尿の結果もまだ出ていないと思われます。校医の知らない間に学校より機械的に受診勧奨が行なわれているのが、実状ではないでしょうか？

次も検診後の医療機関に受診する時の話題です。

紹介状なしに病院に受診していただく初診料とは別に初診時選定療養費というのが別に取りられます。書式の変更を考えねばなりません、保護者に学校より渡たされる受診勧奨の書式をうまく変更する事により、紹介状を兼ねる様な形式になんとか出来ないか？ という話題を提供いたしました。教育委員会の方も疾病により（例 小人病の検査等）一旦診療所において受診し、紹介状をもらって病院に行くのでは、診断や診療開始までに時間を要し、又、保護者に手間や費用の負担を余分にかけしてしまうなどの点もあるので、出来れば学校医会からの提案には賛成ですとの意見をいただき、学校医会の方も協力する形で新しい書式を作る事になりました。

もう一つは、医師の出務を必要とするスポーツ大会等の日程の決め方についてである。近年、学校の諸事情により、土曜日午後や日曜日にプログラムが少なくなって来た。ひっくり返すと医師出務は出来にくくなって来たと言う事になる。たとえば、大文字駅伝の予選等は大半の地区がウィークデーの午後、しかも 3 時すぎや 4 時頃スタートである。夕方の診療の事も考えると増々出務出来づらくなっている。このあたりをうまく出来ないものか？ という話題である。委員会からのお話では、西京極のグラウンドやプールは日程の決定に会場側の都合により、抽選という手段である為に希望どおりにはなりにくく、努力いたしますとしか云えないとの解答であった。

大文字予選会の日程には、次回開かれる校園長会にも話題を出し、うまく進めていただく様お願いする手順になっている。

大きな話題を書きましたが本年もお互いの云いたい事を云い、本音の話が出来たのではないかと思います。宿題を一つ完成する話題が残りましたが・・・。

## 第63回指定都市学校保健協議会 第2分科会「保健管理」

副会長 林 鐘 声

新たな健康課題に対し、子どもが主体的に健康管理できる力を育てる保健管理のあり方について協議するとして以下の6題の提言。

- No.1 これからの学校歯科における食育の方向性について  
さいたま市常盤北小学校  
学校歯科医 小田 尚孝
- No.2 横浜市学校心臓病検診と学校生活管理指導について  
横浜市立下郷小学校  
学校医 柴田 利満
- No.3 スポーツ栄養を応用して高校生の主食量とBMIについて  
大阪市立南高等学校  
教諭 中井 多津枝
- No.4 学校における感染症の対応  
仙台市立田子小学校  
養護教諭 小林 幹子
- No.5 生活習慣と肥満との検討  
北九州市立大積小学校  
学校医 香月 きょう子
- No.6 学校環境衛生「教室の空気環境」  
さいたま市立宮原中学校  
学校薬剤師 米倉 昌毅

昨年の京都市開催仕様で、提言15分、協議10分の時間配分となり冗長な発表はなく、心穏やかにきけたのは何よりでした。

No.1, 早食いの食習慣の是正など、よく噛むこと(30回噛む)の重要性を子ども達に講話し、食べ方を切り口として噛むことと健康についての学校歯科医からの報告。

No.2, 横浜市立学校の新1年生、約6万人を対象とする心臓検診の報告。横浜市中心臓検診管理委員会を中心となって、心電図、問診票から要精検者を1.5%の抽出率に絞り込んだ精度の高い検診でした。京都府全体とほぼ同じ対象者数で抽出率は約1/2となっています。その要因としては、小・中・高とも12誘導心電図を採用しているとともに、精検も公費負担となっていることが考えられました。一方、要精検者の未受診者は9.6%と京都府と変わらないのは意外でした。未受診率の改善のためには、経済的支援よりは、受診しやすい体制づくりの工夫があることを示すものです。

No.3, 身体作りのために「タンパク質が大切」が流布していますが、公認スポーツ栄養士の資格をもつ家庭科教員から、炭水化物を必要エネルギーの60%摂ることをないがしろにはいけないとする提言。糖質エネルギー不足下での運動ではタンパク異化作用が働き、身体作りにもコンディション維持にも不具合が生ずるとするものでした。興味をひいたのは途中の話題でした。高校1年生160人に茶碗一杯のご飯を盛りつけさせた時、最小値は44g最大値は259gと個人によるバラツキが極めて大きかったこと、BMI 18.5以下の生徒17人のうち4人しかやせと自覚しておらず、身体イメージでも隔りの大きいことが示されていたことでした。同じ言葉が同じ意味をもって伝わらないなら通じ合うのが難しいのは当たり前です。

No.4, 欠席連絡の際に養護教諭まで連絡が挙ってこないなど、学校内での情報伝達の漏れを防ぐために電話連絡メモを取り入れるようにしたことや、感染性胃腸炎の感染予防として吐物の処理法のマニュアルを作成したことで、教諭の協力が得易くなるとともに感染症予防の理解が深まったことで、学校全体の問題として感染症対策を進めることができたとする報告。

No.5, 身体活動時間が少なく間食が多く、就寝時間が遅く寝不足感、不健康感が高いなどが小児肥満の実情とする報告に加え、小児肥満と将来の糖尿病、高血圧、心血管病変のリスクについての文献的考察の発表。小児肥満を成人まで持ち越したものはリスクが高くなる一方で、成人までに解消できた場合は、肥満の既往のない成人とリスクは変わらないという報告から、乳幼児期から思春期にかけてコストをかけて肥満に対する介入が必要と力説していました。

No.6, 教室の換気、とくにCO<sub>2</sub>濃度をとり上げての報告。小学生に比べて高校生は2倍のCO<sub>2</sub>を排出することから教室体積が同じなら換気回数は小学校で2.2回/時に対して4.4回/時必要で、室温の維持のためには換気扇の使用が望ましい。しかし、換気扇の利用は少なく、耐震補強のために換気扇が使えない教室が多いなどの問題のあることが提示されていました。フロアからも実例が挙がりましたが、やややり過ぎの"ヤラセ"質問となっていたようです。

## 第63回指定都市学校保健協議会

### 第3分科会【心の健康】に参加して

常任理事 杉本英造

協議題：よりよく生きるための心を育む保健活動の推進

主旨：豊かな人間関係から育む心の健康について、学校における具体的な支援や環境づくりの在り方について協議する。

協議の視点：人と人のかかわりの中で育む心の健康の推進

自他の生命を尊重する健やかな心を目指した指導・支援の推進  
家庭や関係機関等と連携した支援体制及び環境づくりの推進

- 演題：1. 養護教諭による個別支援を必要とする生徒への適切な支援方法（千葉市）  
2. 人とかかわりという視点を大切にしたい心の健康づくり（名古屋市）  
3. 「薬物乱用防止教室」の取り組み（新潟市）  
4. スクールソーシャルワーカーと連携して行う心の健康問題への支援について（福岡市）  
5. 健やかに生きるための心と体を育む俳優指導 ～心も腸も動き出すシンデレラストーリー（CD）を作ろう～（静岡市）  
6. さいたま市における「心の健康」の取組について ～さいたま市保健主事会による研究実践～（さいたま市）

このうち演題2についてご紹介します。「人との

上手なかかわり方」としてアサーティブな関わり（相手の立場や気持ちを尊重しながらも、自分の気持ち・考え・信念などを正直に率直に、素直に、その場にふさわしい方法で表現する）を育む。まず自身の感情を表現する方法（小5対象）として、「感情を視覚的」ととらえるために感情マップを作成。課題を与えそれに対する「よろこび」「いかり」「たのしさ」「かなしみ」の気持ちについて、笑った顔・怒った顔・泣き顔などの表情イラストシールを使い、そこへ今の気持ちを文章化させます。ただし、無理はさせません。

次にコミュニケーションを「けんかタイプ（攻撃的）」「よわきタイプ（非主張的）」「はっきりタイプ（相手も自分も大切）」の3つに分類。生活の場面で起きる状況を上記3つの対処法で教師が演じると、「はっきりタイプ」の心地よさを子供たちは感じたのに対し、子供たちペアで演じると40%が、「自分の気持ちを言葉ではっきり伝えることは難しく負担」と感じ、「はっきりタイプ」を受容できませんでした。子供たちには、それぞれの個性があり、発達障害を持つ子供もおり教育現場の難しさを感じました。

一般社会でも人間関係での不安や悩みがストレスとなり蓄積されると、心の不調は体の不調にもつながります。感情をコントロールし、ヒトとの関係作りの一助として参考になった演題でした。

## 第63回指定都市学校保健協議会 第4分科会（地域医療）

### 「学校がコーディネートする地域と一体になった保健活動」

福西小学校校医 奥村正治

大宮ソニックシティ市民ホールの403、404号室にて第4分科会は開かれました。表題の大きな課題のもと、

- No.1 家庭とともに「学び」を支える歯と口の健康教育  
京都市立小栗栖宮山小学校  
養護教諭 金沢 真弓先生  
保健主事 宮下 佳子先生

- No.2 学校と家庭が一体となった保健活動  
「てあらい・うがいをしてかぜをひかないぞ!!!」大会  
堺市立少林寺小学校 教諭 上野 博世先生  
No.3 生活習慣（歯と口）づくりから始める健康な心と体—学校・家庭・地域とともに—  
神戸市和田岬小学校 教諭 辻 丈治先生

- No. 4 学校保健における学科校医の役割  
川崎市立殿町小学校他  
学校医 辻 一夫先生
- No. 5 学校、家庭、専門機関の連携を生かした歯・口の健康づくり  
岡山市立岡南小学校（元）岡山市立大野小学校  
教諭 長谷川 明美先生  
岡山市立大野小学校  
養護教諭 赤木 昭子先生
- No. 6 養護教諭の専門性を生かした食育の進め方—  
子供の実態から捉えた話題にせまる—  
さいたま市立与野南小学校  
養護教諭 森本 佐見枝先生
- の6題であった。偶然と思われるが、6題中5題が口に関係した話題である。子供達の話題で、家庭や

地域とも関係してくる話題なら口を中心にした点がまとめやすいのか？ 色々と学校が中心になってチャレンジしておられるが、せっかく小学生の時にうまく進んで習慣化した内容が、中学生の時に崩れていく様であり、この点がこれからの課題となるであろう。

京都からの演題です。少し内容を…。主な健康教育の取り組みとしては①検診の健康教育は大半が事後指導となる教育が圧倒的に多いのではないのでしょうか？ 事前の検診教育がなされたのは特徴的でした。②児童保健委員会の実践活動や食に関する指導等々も家庭とつながっていた。③小・中学校との連携では、小中連絡協議会を作り、小学校での取組みを中学校につなげている努力が見られる。等々が大きな話題でした。

## 第 3 回 常任理事会

平成24年7月7日  
於 事務局

出席者 奥村会長、林・竹内副会長、井本専務理事、杉本・山内各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、長村監事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 第29回 京都府歯科保健文化賞 6/3  
於：京都府歯科医師会館
2. 三師会 6/9 於：終家
3. 京都市学校保健会理事会・評議員会 6/12  
於：京都新都ホテル
4. 京都市学校保健会新旧会長歓送迎会 6/12  
於：京都新都ホテル
5. 色覚相談 6/12 2名、6/19 1名
6. 精神衛生研究会 6/14
7. ツベルクリン反応検査 接種6/18、判定6/20  
から始まり全7会場で開催
8. ワンポイント相談 6/28 中学生男子 1名
9. 教育委員会との懇談会 6/30 於：ひろや
10. 腎臓相談 7/3 小学生男子 1名
11. 心臓相談（水中心電図）7/4 中学生男子 2名
12. その他 学校給食の学校保健委員会

### <協議事項>

1. 京都市学校保健・学校安全功労者表彰推薦について
2. 各懇談会協議内容について 協議内容の調整
  - ・検診後の未受診者の受診勧告について
  - ・検診後の医療機関の受診について
  - ・大文字駅伝予選会日程決定について
3. 全理事会について 8/4 17:30～
4. 第12回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会について 9/15 於：こどもみらい館
5. 会誌について 近日発行予定
6. 平成24年度 京都府予防接種研修会について 10/18 於：京都府医師会館 14:30～
7. 「子どもの健康週間」のシンポジウムの後援について 10/13 於：こどもみらい館 14:00～
8. その他

### <関連学会・各種協議>

1. 南支部会 7/7
2. 腎臓相談 7/10、7/31
3. 精神衛生研究会 7/12
4. 校園長会との懇談会 7/14
5. 色覚相談 7/17
6. 養護教育研究会との懇談会 7/21
7. 第34回 近畿学校保健連絡協議会 7/26
8. 京都市小学生水泳記録会 7/30
9. 全理事会 8/4 17:30～
10. その他